




安全データシート (SDS)

改訂：2022年12月1日

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称	
商品名	ユーオイル 専用うすめ液
製品説明	種類：浸透性木部保護着色油性塗料用希釈剤 用途：ユーオイルの粘度調整、色の濃度調整、乾燥調整用の希釈液
会社情報	
会社名	株式会社 シオン
住所	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3丁目8-1
電話番号	019-677-7060
FAX	019-637-3190
E-mail	info@xion.co.jp
担当者	製造開発室 藤田 悠
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
物理化学的危険性	引火性液体：区分3
健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性：区分2 眼刺激性：区分1 皮膚感作性：区分1
環境有害性	水性環境有害性 短期(急性)：区分1 水性環境有害性 長期(慢性)：区分1
(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない／データなし	
GHSラベル要素	
GHSラベル要素	 H226 引火性の液体及び蒸気  H315 皮膚刺激  H412 長期的影響により水生生物に有害
注意喚起	
予防	P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
対応	P378 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、泡消火器、乾燥砂などを用い消化する。
保管	P233 容器を密閉しておくこと。 P235 涼しく風通しのよいところに保管する。
廃棄	P501 産廃物の処理、清掃に関する法律及び関係する法律に従って処分する。

3. 組成及び成分情報		
化学的特性		
物質または混合物の区別	単一物質	
全成分	低臭性リモネン	
危険な含有成分		
成分名	G H S 表記	含有量
低臭性リモネン	 H226 引火性液体	100.0%
	 H315 皮膚刺激	
	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	
	 H400 水生生物に強い毒性	
	H410 長期的影響により水生生物に強い毒性	
官報公示整理番号・CAS番号・国連分類及び国連番号・PRTR法・化審法番号・労安法通知物質：該当なし		
4. 応急措置		
吸入した場合	ミストを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせること。症状が改善されない場合は、医師の手当てを受けること。	
皮膚に付着した場合	付着部又は接触部を石鹸で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受けること。	
眼に入った場合	清浄な水で15分以上注意深く洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、眼科医の手当てを受けること。	
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、水でよく口の中を洗浄し、無理に吐かせたりせず、気分が悪いときは、医師の手当てを受けること。	
5. 火災時の措置		
適切な消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液。	
消化方法	初期の火災には、上記の消火剤を用いて消化する。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効。	
使ってはならない消火剤	水をかけると火災を拡大することがあるので、使用してはいけない。	
特有の危険有害性	現在のところ有用な情報なし。	
消化を行う者の保護	消火作業の際には、必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。	

6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	十分な換気を心がけ、付近の着火源となるものを取り除く。
環境に対する注意事項	河川や下水に排出しないように注意する。
少量流出時	紙、布、ウェス等に吸収させて回収し、それらは焼却または地域条例に従い廃棄する。
多量流出時	火気を遠ざけ、バケツ、ヒシヤク等で汲み取り、密閉できる容器に移した後、可能な限りぬぐい取り、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。 その場合、中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い上の注意事項	
取扱者のばく露防止策	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。作業衣に付着した場合は、その汚れを落とす。 取扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。
火災、爆発の防止等の適切な技術的対策	取扱い場所は火気厳禁とし、作業場は換気を十分に行う。 取扱い時は、飲食及び喫煙をしない。発火源から遠ざける。
保管上の注意事項	
混合接触させてはならない化学物質	酸化剤から離して保管すること。 可燃性や発火性のある薬品や、発火源からは遠ざけて保管すること。
保管条件	容器はしっかりと密閉して、換気良好な冷暗所に保管する。 長期間保管すると、リモネンの成分が酸化して黄色に変色することがあるが、製品の品質に異常はない。
8. ばく露防止及び保護装置	
ばく露防止	
管理濃度	設定されていない
許容濃度	設定されていない
設備対策	不要
適切な保護装置・保護具	
眼と顔の保護	保護眼鏡等を着用し、眼にうすめ液が入らないように注意する。
皮膚の保護	保護手袋、保護衣を着用し、皮膚にうすめ液が付着しないようにする。
呼吸の保護	換気が十分でないときは、呼吸用保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質	
物理的性質	
外 観	形状：常温で液体 色：無色ないし微黄色
臭	やや柑橘系の臭い
物理的形態変化	沸点：173 ～ 180℃ 融点：データなし
引 火 点	47.5℃
自 然 発 火 点	200℃以上
燃焼又は爆発範囲	上限：5.9% 下限：0.9%
蒸 気 圧	データなし
蒸 気 密 度	1.0以上
比重（相対密度）	0.76 ～ 0.79 (20℃)
溶 解 性	非水溶性
分 解 温 度	データなし
10. 安定性及び反応性	
避けるべき条件	高温、過熱。 発火源から遠ざける。
安定性・反応性	通常の状態安定している。
危険な反応	現在のところ有用な情報なし。
混触危険物質	現在のところ有用な情報なし。
危険有害な分解生成物	現在のところ有用な情報なし。

1 1. 有害性情報 ※1	
急性毒性	経口：ラットにおけるLD50>5g/kgに基づき、区分外とした。 経皮：ラットにおけるLD50>5g/kgに基づき、区分外とした。 吸入・蒸気：データなし
皮膚腐食性・刺激性	ヒト（パッチテスト）において、刺激性が72時間継続し、経皮暴露（2時間）によって火傷、そう痔、痛み、紫斑発疹が見られた。 ウサギの試験において、皮膚一時刺激指数が8ランク中3.5位を示した。以上の結果及びEU分類でR38（区分2又は3相当）であることから、区分2とした。
眼刺激性	ウサギにおいて刺激性が認められているが、このデータだけでは区分が特定できないことから、データ不足のため分類できないとした。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	ヒト（パッチテスト）において10～15分で感作性が見られ、モルモットによるMaximizationtestにおいて感作性が認められた。 以上の結果及びEU分類においてR43（区分1相当）、DFGにてShであることから、区分1とした。
生殖細胞変異原性	体細胞in vivo変異原性（マウススポット試験）で陰性であることから区分外とした。In vivo試験では、マウスリンフォーマ試験、CHO細胞を用いた染色体異常試験、エームス試験にて陰性結果を示した。
発がん性	発がん性は認められなかったことから、区分外とした。
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性	単回ばく露：ヒト及び動物において重大な変化が認められなかったことから区分外とした。 反復ばく露：変化が認められなかったことから区分外とした。
吸引性呼吸器有害性	データなし
1 2. 環境影響情報	
取扱い時の注意事項	漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるため、取扱いに注意すること。 特に、製品や洗浄水が、地面、川、排水溝に直接流れないように対処すること。
生体毒性	製品としての情報なし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	製品としての情報なし
水性環境有害性	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50=0.70mg/Lにより、区分1とした。 甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50=0.70mg/L及び、n-オクタノール/水分配係数=4.23により区分1とした。
オゾン層有害性	製品としての情報なし

13. 廃棄上の注意	
廃棄方法	産廃物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処分を行うか、委託をすること。 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 運送状の注意	
国際規制	
海上規制情報	IMOの規制に従うこと。 国連番号：2052 品名（国連輸送名）：ジベンテン 国連分類：クラス3 包装等級：III 海洋汚染物質：該当P物質
航空規制情報	ICAD/IATAの規制に従うこと。
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規制に従うこと。
海上規制情報	船舶安全法の規制に従うこと。
航空規制情報	航空法の規制に従うこと。
運送上の特別の安全対策及び条件	荷崩れ防止を確実にいき、衝撃、転倒、落下、破損が生じないようにすること。 その他、当データシートの取り扱い、保管上の注意事項を参照すること。
15. 適用法令	
消防法	危険物第四類 第2石油類（非水溶性）
安衛法	危険物 引火性の物（施工例別表第1第4号）
毒劇法	該当しない
麻薬取締法	該当しない
労基法	該当しない
PRT法	該当しない
航空法	引火性液体（施工規則第194条 危険物告示別表第1）
港則法	危険物 引火性液体類（法第21条2、則第12条）
危規則	引火性液体類（危規則第3条 危険物告示別表第1）
海洋汚染防止法	有害液体物質（Y類物質）（施工令別表第1） 個品運送P（施工規則第30条の2の3、国土交通省告示）
悪臭防止法	該当しない
道路法	車両の通行の制限（施工令第19条の13）

16. その他の情報	
参 考 資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全データシート作成資料 JIS Z 7253:2019 2. 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂6版 3. 安全データシート作成指針 (日本化学工業協会) 4. 日本産業衛生学会 (2007年) 5. IARC Vol.73 (1999年) 6. CICADs no.5 (1998年) 7. EU-Annex I access on 12 (2008年) 8. MAK/BAT (2007年) 9. 『13901の化学商品』化学工業日報社 (2001年) 10. 印藤元一『合成香料』化学工業日報社 (1996年、P-21) 11. 安全情報センター、安全データシート、d-リモネン 12. (株)三菱化学安全科学研究所「試験報告書」、試験番号8B699G、OEOGガイドラインNo.202 (1999年) 13. 原材料の安全データシート (各原材料メーカー参照)
備 考	<p>※1 人についての症例、疫学的情報を含む。</p> <p>記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しており、情報の正確さや安全性を保証するものではありません。</p> <p>取扱いには細心の注意が必要で、ご使用者各位の責任において安全にご使用ください。</p> <p>本資料の記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。</p>